

## 4. 政策の棚卸し・ムダの排除

既存の事業を見直し、廃止・縮小、経費の節減等を図ることにより、平成21年度予算において1,912億円の政策の棚卸しを実施。

公共事業関係費については、予算科目を抜本的に見直し、「事業費」からの支出を個別の工事・事業に直接必要な経費に限定。委託調査費、広報経費、車両経費等の経費について予算の明確化を図り、厳正な予算執行管理を行う。

### 1. 政策の棚卸し

- ・21年度予算における反映額 : ▲1,912億円 (211事業)

### 2. 公益法人向け支出の削減

- ・21年度予算における削減額(対18年度支出実績額) : ▲1,028億円(▲39.4%)

### 3. 委託調査費、広報経費、タクシー代、レクリエーション経費の削減等

#### (1) 委託調査費

- ・21年度予算における削減額(対20年度当初予算) : ▲89億円(▲33.1%)
- ・予算科目の見直しにより予算を明確にして用途を制限

#### (2) 広報経費

- ・21年度予算における削減額(対20年度当初予算) : ▲96億円(▲47.4%)
- ・予算科目の見直しにより予算を明確にして用途を制限

#### (3) タクシー代

- ・21年度予算における削減額(対20年度当初予算) : ▲8億円(▲36.1%)
- ※本省において、タクシーチケット使用停止及び「立替払い制度」の試行を実施中

#### (4) レクリエーション経費

- ・平成20年度より、レクリエーション経費の支出を中止(21年度予算への計上なし)

### 4. その他のムダの排除に向けた取組

#### (1) 随意契約の見直し

- ・応募要件の緩和
- ・発注予定情報、応募要件、業務概要等を事前周知
- ・「公募方式」から「企画競争」等へ、より競争性の高い契約方法に移行

#### (2) 公用車利用の適正化

- ・平成22年度までに、公用車について、4,123台(平成18年度末)のうち、963台を削減、684台を車種・車格について見直し
- ・平成22年度までに、車両管理業務について、2,656台(平成18年度末)のうち1,372台削減

